日本ラチーノ学院に雛人形寄贈

2014 年 1 月 24 日
学移連 OB 会西日本支部
支部長 引地正之

日本学生海外移住連盟(学移連)OB 会の賛助会員である㈱徳永こいのぼり（岡山県和気郡和気町）徳永深二会長は、今年ラチーノ学院（滋賀県近江八幡市）に雛人形を寄贈しました。タイミング良く校友会藤井副会長・木下幹事が同学院の日本語補助ボランティア活動の日に、雛人形が届き両氏の指導の下に教職員・生徒達と協力して寄贈された雛人形を学院の正面に飾りつけました。

早速、生徒達と一緒に写真を撮りました。生徒達の喜んでいる姿が理解できます。

徳永深二会長は、昨年は同学院に鯉のぼりを寄贈して戴き、在日日系ブラジル人子弟が日本の文化に触れ、理解して戴きたいと云う強い思いが伝わってきます。

また、㈱徳永こいのぼりは、昨年末には JICA シニアボランティアでアルゼンチン滞在中の谷村信弘氏（早稲田大学）を通じて、同国の在留邦人・アルゼンチンの子供たちに鯉のぼりを寄贈され、鯉のぼりを通して日本文化の啓蒙に努力をされています。







ラチーノ学院日系ブラジル人生徒への日本語教育支援は、学移連 OB 会西日本支部メンバーと共に校友会有志が積極的に活動を行っており、昨年からは母校のブラジルポルトガル語学科・海外事情研究会の学学生諸君も支援活動を行っております。

校友会メンバーと学生諸君がラチーノ学院を支援することにより、母校と同学院の結びつきが強くなってきております。

今月 29 日（水）に学生諸君は同学院で生徒達と日本語教育を通して交流会を開催する予定です。

―完―

（海外事情研究会 OB 会）